

経営比較分析表（令和元年度決算）

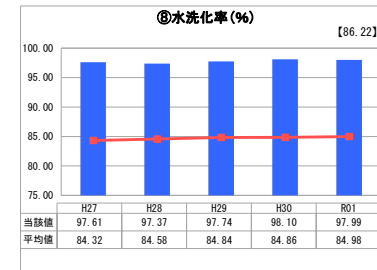
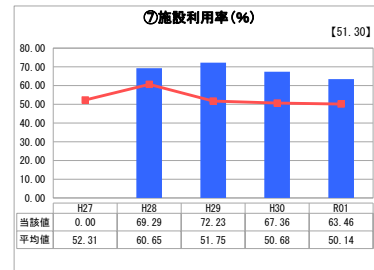
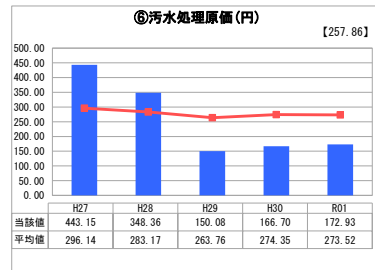
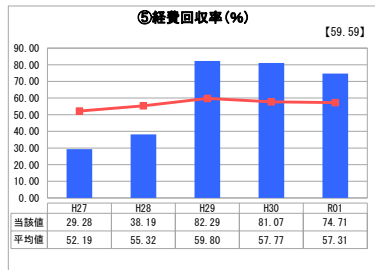
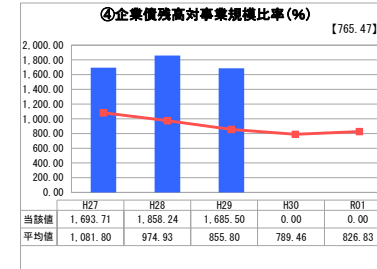
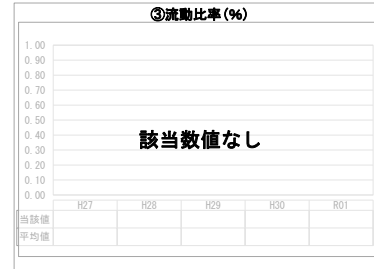
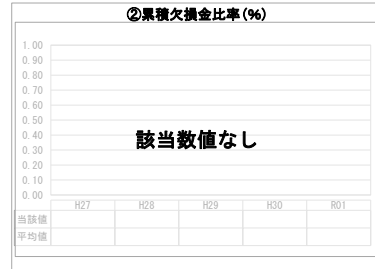
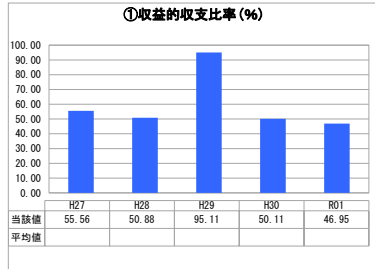
福井県 永平寺町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	19.74	95.34	2,530

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,440	94.43	195.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,626	2.49	1,456.22

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

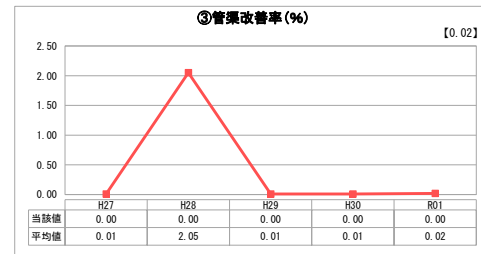
1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、100%を下回っており総収益の大部分を一般会計繰入金に依存している状況である。企業債の償還についてもすべて一般会計繰入金に依存している。今後、料金収入による財源確保等の経営改善に向けた取組みが必要である。経費回収率は、類似団体平均を上回っているが、100%を下回る状況である。更なる汚水処理費の抑制や料金収入の増加に努める必要がある。汚水処理原価は、類似団体平均を下回っている。引き続き、効率化による維持管理費の削減に努めていく。施設利用率は、人口減少により、減少傾向にあるが、類似団体平均よりも高い状態であるが、今後の人口減少等に伴う利用率の低下が見込まれるため、本指標を注視しつつ処理区の統廃合について検討していく必要がある。水洗化率は、供用開始当時より地元が中心となって加入の促進の取組みを行ったため、類似団体平均よりも高い値となっている。

2. 老朽化の状況について

当町の農業集落排水事業は、平成7年から順次、供用を開始し25年経過している。耐用年数を考慮しても、半数以下の経年数となっていることから、現状としては管渠の更新、老朽化対策は実施していない。ただし、処理場における機械設備等の更新時期を迎えつつあるため、令和2年度において3つの処理場の長寿命化等について検討し、最適整備構想を策定する予定としている。また、令和6年度以降に公営企業法適用化を予定しているため、固定資産台帳の整備を進めることで現状の老朽化を把握し、適切な老朽化対策を進めていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

当町の農業集落排水事業は、松岡地区の吉野処理区、上志比地区の西部処理区、中央処理区、東部処理区の計4処理区で汚水を処理しているが、令和2年度において松岡地区の吉野処理区を同地区の公共下水道に統合する予定としている。さらに、料金収入については人口減少等の影響から今後も増加が見込めず、一方では施設の老朽化により修繕費が増加する見通しとなるなど問題は山積している。令和2年度において各事業の経営戦略を策定し、今後の経営状況を明らかにする予定である。その中で施設等の更新についての詳細な検討を行うと同時に資金状況を明らかにし、適正な料金算定を行うことで経営健全化、事業効率化をより一層図っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。